

県立高等学校入学者選抜調査改善委員会資料

神奈川県教育委員会

平成 28 年 3 月 29 日

目 次

I 県立高等学校における入学者選抜に係る採点の誤りについて	1
-------------------------------	---

<資料>

資料 1 平成 28 年度入学者選抜に係る採点誤りのあった学校名一覧	4
資料 2 県立高等学校における平成 28 年度入学者選抜に係る採点の誤りの内訳	5
資料 3 平成 27 年度入学者選抜に係る採点誤りのあった学校名一覧	6
資料 4 県立高等学校における平成 27 年度入学者選抜に係る採点の誤りの内訳	7
資料 5 再点検での誤りの内容 (内訳)	8

I 県立高等学校における入学者選抜に係る採点の誤りについて

1 採点誤りに関するこれまでの経過

- 平成28年3月4日 ある県立高等学校の受検者から平成28年度入学者選抜における答案用紙の自己情報開示請求
- 3月7日 当該校が開示にあたり答案用紙を点検したところ、小計点及び合計点に誤りがあることが判明
- 3月8日 県教育委員会から、学力検査を実施した全県立高等学校に、全受検者の全教科の答案の小計点及び合計点について点検するよう指示し、各学校が一斉に再点検を実施
- 3月10日 点検途上で、複数の学校で誤りがあることが明らかになり、県教育委員会から、小計点及び合計点以外の採点についても点検するよう指示し、各学校が一斉に再点検を実施
- 3月11日 平成28年度入学者選抜に係る小計点及び合計点の採点誤りについて公表。さらに、県教育委員会から、昨年度実施した平成27年度入学者選抜についても点検するよう指示し、各学校が一斉に再点検を実施
- 3月17日 平成28年度入学者選抜に係る小計点及び合計点以外の採点誤りについて県議会文教常任委員会に報告し公表
- 3月22日 平成27年度入学選抜に係る再点検結果、再発防止に向けた取り組み等について県議会文教常任委員会調査会に報告し公表

2 再点検の結果について

(1) 平成28年度入学者選抜における採点誤りに係る再点検の結果

全県立高校 143 校中、学力検査を実施した県立高校 139 校、157 課程が対象

再点検の内容	誤りのあった 学校数・課程数 (※1)	誤りのあった 受検者数 (※2)	本来合格と すべき受検者数 (※3)
小計点及び合計点	57校・57課程	109名	1名
小計・合計以外の採点	66校・67課程	222名	1名
合計	88校・89課程	330名	2名

※1 誤りのあった学校数・課程数は、重複している学校が35校、35課程があるため合計は異なる。

※2 誤りのあった受検者数には、重複して誤りのあった生徒が1名いるため、合計は異なる。

※3 採点誤りにより、本来不合格であった受検者を合格としていたため、本来合格とすべき受検者を不合格としていた人数（その他の受検者については、採点誤りの結果が合否の判定を覆すまでには至らなかった。）

(2) 平成27年度入学者選抜に係る再点検の結果

全県立高校 143 校中、学力検査を実施した県立高校 139 校、157 課程が対象

ア 採点誤りにおける再点検の結果

再点検の内容	誤りのあった 学校数・課程数 (※1)	誤りのあった 受検者数	本来合格と すべき受検者数 (※2)
小計点及び合計点	50校・52課程	80名	1名
小計・合計以外の採点	47校・48課程	108名	1名
合計	71校・75課程	188名	2名

※1 誤りのあった学校数・課程数は、重複している学校が 26 校、25 課程があるため合計は異なる。

※2 採点誤りにより、合格とすべき受検者を不合格としていた人数（その他の受検者については、採点誤りの結果が合否の判定を覆すまでには至らなかった。）

イ 答案用紙の誤廃棄

平成 27 年度入学者選抜における採点の再点検を指示したところ、「神奈川県教育委員会行政文書管理規則」において、本来、1 年間保存すべき答案用紙を、保存期間経過前に廃棄してしまった県立高校 3 校が判明した。

誤廃棄のあった 学校名	経緯
白山高校	平成28年1月7日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。途中で誤りに気づき、処理を中止したが、国語の答案用紙374枚中171枚を誤廃棄してしまった。
港北高校	平成28年1月20日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。
相模原総合高校	平成28年3月7日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。

3 生徒、保護者への対応について

(1) 平成28年度入学者選抜に係る採点誤り

本来合格とすべきであった受検者とその保護者に対して連絡を取り、謝罪するとともに、受検した県立高校に入学する意向があるか確認したところ両名とも入学する意向であり、入学手続を完了した。

合否の判定に影響がなかった受検者とその保護者に対して、各県立高校から受検者に謝罪している。

本来合格とすべきであった受検者が、県立高校の合格発表以降に私立高校に支払った金額のうち、返金が不可能な金額について、県教育委員会が補填していく。

(2) 平成27年度入学者選抜に係る採点誤り

本来合格とすべきであった受検者とその保護者に対して連絡を取り、謝罪するとともに、その意向を確認している。

今後、受検者、保護者等の意向に沿った対応をしていく。

受検した県立高校に入学していればかからなかった費用等について、県教育委員会が補填していく。

4 再発防止に向けた取組みについて

(1) 「県立高等学校入学者選抜調査改善委員会」の設置

ア 目的

現行の採点及び点検業務について検証し、採点誤りの原因究明を行うとともに、今後の入学者選抜に向けた具体的な再発防止策を取りまとめる。

イ 検討事項

入学者選抜における採点誤り等の調査分析、原因究明、再発防止策

ウ 構成員

学識経験者、中学校校長及び高等学校校長の代表者、保護者の代表等10名程度

(2) スケジュール

平成28年3月中	調査改善委員会設置
4月～	調査改善委員会による原因の究明、再発防止策の検討
5月中	調査改善委員会検討結果とりまとめ
6月	平成29年度入学者選抜に向け再発防止策を教育委員会で決定

5 教職員の処分等について

今回の事案に係る教育委員会、県立高校の関係教職員については、事実関係等を調査の上、厳正な対応を行う。

資料 1

平成28年度入学者選抜に係る採点誤りのあった学校名一覧

(人)

学校名	小計・合計	正誤	計	学校名	小計・合計	正誤	計	学校名	小計・合計	正誤	計
鶴見		3	3	住吉	1	5	6	相模原		6	6
神奈川総合	1	2	3	川崎北	2	2	4	麻溝台	1		1
横浜翠嵐	1	3	4	多摩	3	11	14	橋本		1	1
城郷	1	3	4	向の岡工業	2	2	4	相模原青陵	2	4	6
横浜平沼		6	6	生田	1	4	5	弥栄	4	3	7
横浜緑ヶ丘	2		2	百合丘		13	13	相模田名	2	1	3
横浜清陵総合		2	2	菅	2	6	8	三浦臨海	4		4
横浜国際	2		2	麻生総合		1	1	秦野	2	5	7
横浜南陵	3	1	4	麻生	3	2	5	秦野総合	1		1
保土ヶ谷	2		2	横須賀		9	9	秦野曾屋	1		1
希望ヶ丘		1	1	横須賀大津	1		1	厚木		5	5
二俣川看護福祉		1	1	追浜		1	1	厚木商業		1	1
磯子		1	1	横須賀明光	1	2	3	厚木北	1		1
港北		4	4	平塚農業	4	4	8	厚木清南(全定)		2	2
新羽	3	4	7	平塚工科		1	1	大和西	3		3
岸根		1	1	平塚商業(定)		2	2	伊勢原	1		1
霧が丘	1	2	3	七里ガ浜	1		1	伊志田		1	1
元石川		3	3	藤沢西	1	5	6	中央農業	1		1
川和	1		1	藤沢清流	1		1	海老名		13	13
荏田	4		4	藤沢総合	2	4	6	有馬	3	2	5
新栄	3		3	小田原		4	4	相模向陽館(定)	2	1	3
横浜桜陽	1	1	2	西湘	1	6	7	足柄	2		2
上矢部	1	2	3	小田原城北工業	1		1	綾瀬	1	3	4
柏陽	3	2	5	茅ヶ崎	3		3	綾瀬西		1	1
金井		2	2	茅ヶ崎北陵		7	7	大磯		4	4
横浜栄	2		2	鶴嶺		2	2	山北	4	1	5
横浜緑園総合	1	3	4	茅ヶ崎西浜	2	16	18	吉田島総合		1	1
瀬谷	3	2	5	逗葉	3		3	城山		1	1
川崎	1	3	4	相原		3	3	津久井	2	1	3
川崎工科	1	1	2						109	222	330

(注1) 表題の「小計・合計」は小計・合計点の再点検により判明した誤りの数。

表題の「正誤」は小計及び合計以外の採点の再点検により判明した誤りの数。

(注2) (全定)は全日制と定時制、(定)は定時制、記載のないものは全日制。

(注3) 「小計・合計」と「正誤」で重なる受検者が1名いるため合計の数は全ての計と異なる。

県立高等学校における平成28年度入学者選抜に係る採点の誤りの内訳

		28年度 (小計・合計)	28年度 (採点正誤)	28年度計	
誤りのあった学校数	学校数	57 校	66 校	88 校	35校重複 57+66-35=88
	課程数	57 課程	67 課程	89 課程	35課程重複 57+67-35=89
誤りのあった受検者数	総数	109 名	222 名	330 名	1名重複 109+222-1=330
	合格	91 名	198 名	288 名	1名重複 91+198-1=288
	不合格	17 名	24 名	41 名	
	志願取消	1 名	0 名	1 名	
合否が変わる	不合格から合格	(1) 名 109名には含まれない	(1) 名 222名には含まれない	(2) 名 330名には含まれない	
点数が変わる	上がる	86 名 (小計84名 合計2名)	56 名	142 名	
	下がる	23 名 (小計21名 合計2名)	166 名	189 名	
点数の増減の最大値	上がる	10 点	5 点	/	
	下がる	11 点	8 点		
教科	英語	14 箇所	31 箇所	45 箇所	
	国語	26 箇所	49 箇所	75 箇所	
	数学	11 箇所	24 箇所	35 箇所	
	理科	21 箇所	17 箇所	38 箇所	
	社会	34 箇所	97 箇所	131 箇所	
	特色	3 箇所	5 箇所	8 箇所	

- 小計・合計による合否判定の誤り
 - ・ 本来不合格であったが合格となっている受検者 誤りにより5点下がる。
- 小計・合計により合否に影響のあった受検者の性別について
 - ・ 本来不合格であったのに合格としていた受検者 男子1名
 - ・ 本来合格であったのに不合格としていた受検者 女子1名
- 採点正誤による合否判定の誤り
 - ・ 本来不合格であったが合格となっている受検者 誤りにより8点下がる。
- 採点正誤により合否に影響のあった受検者の性別について
 - ・ 本来不合格であったのに合格としていた受検者 女子1名
 - ・ 本来合格であったのに不合格としていた受検者 男子1名
- 小計・合計及び採点正誤による誤り
 - ・ 「小計・合計」と「採点正誤」の両方で誤りがあった受検者は、合わせて2点上がる。
(「小計・合計」で2点下がり、「採点正誤」で4点上がる。)

平成27年度入学者選抜に係る採点誤りのあった学校名一覧

(人)

学校名	小計・ 合計	正誤	計	学校名	小計・ 合計	正誤	計	学校名	小計・ 合計	正誤	計
鶴見	0	3	3	瀬谷西	1	1	2	茅ヶ崎北陵	2	12	14
城郷	4	3	7	川崎	1	0	1	茅ヶ崎西浜	1	1	2
横浜清陵総合	2	1	3	川崎北	3	2	5	逗子	0	4	4
横浜南陵	0	1	1	多摩	0	2	2	逗葉	1	0	1
永谷	1	0	1	向の岡工業(全定)	2	2	4	相原	2	5	7
保土ヶ谷	1	0	1	生田	1	0	1	相模原	1	9	10
希望ヶ丘(全定)	1	5	6	百合丘	0	2	2	上溝南	0	1	1
横浜旭陵	0	1	1	生田東	4	1	5	橋本	1	1	2
磯子工業(全定)	1	1	2	菅	0	2	2	相模原青陵	0	1	1
磯子	3	0	3	麻生	0	2	2	弥栄	1	1	2
金沢総合	0	1	1	横須賀大津	1	0	1	相模田名	1	1	2
岸根	1	1	2	海洋科学	0	1	1	三浦臨海	1	1	2
白山	2	1	3	追浜(全定)	2	0	2	厚木	2	0	2
市ヶ尾	1	6	7	平塚江南	0	1	1	厚木清南	0	1	1
荏田	1	2	3	平塚農業	0	1	1	大和南	2	0	2
新栄	2	1	3	平塚工科	1	0	1	伊勢原	1	0	1
舞岡	1	2	3	平塚商業(定)	1	1	2	有馬	0	1	1
横浜桜陽	3	0	3	大船	1	0	1	足柄	1	0	1
上矢部	1	0	1	藤沢西	0	1	1	綾瀬西	2	0	2
柏陽	0	2	2	藤沢工科	1	1	2	寒川	2	0	2
横浜栄	3	0	3	藤沢総合	2	0	2	大磯	0	6	6
松陽	0	1	1	湘南台	0	4	4	二宮	1	0	1
横浜緑園総合	1	0	1	西湘	2	6	8	山北	1	0	1
瀬谷	1	1	2	茅ヶ崎	4	0	4		80	108	188

(注1) 表題の「小計・合計」は小計・合計点の再点検により判明した誤りの数。

表題の「正誤」は小計及び合計以外の採点の再点検により判明した誤りの数。

(注2) (全定)は全日制と定時制、(定)は定時制、記載のないものは全日制。

(注3) 港北高校、相模原総合高校においては答案用紙を誤廃棄したため、確認できない。

県立高等学校における平成27年度入学者選抜に係る採点の誤りの内訳

		27年度 (小計・合計)	27年度 (採点正誤)	27年度計	
誤りのあった学校数	学校数	50 校	47 校	71 校	50+47-26=71
	課程数	52 課程	48 課程	75 課程	52+48-25=75
誤りのあった受検者数	総数	80 名	108 名	188 名	
	合格	74 名	95 名	169 名	
	不合格	6 名	13 名	19 名	
	志願取消	0 名	0 名	0 名	
合否が変わる	不合格から合格	(1) 名 80名には含まれる	(1) 名 108名には含まれる	(2) 名 188名には含まれる	
点数が変わる	上がる	74 名 (小計68名 合計6名)	36 名	110 名	
	下がる	6 名 (小計5名 合計1名)	72 名	78 名	
点数の増減の最大値	上がる	12 点	4 点		
	下がる	10 点	5 点		
教科	英語	14 箇所	16 箇所	30 箇所	
	国語	24 箇所	37 箇所	61 箇所	
	数学	9 箇所	31 箇所	40 箇所	
	理科	11 箇所	14 箇所	25 箇所	
	社会	21 箇所	10 箇所	31 箇所	
	特色	1 箇所	0 箇所	1 箇所	

- 小計による合否判定の誤り
 - ・ 本来合格であったが、誤りにより2点上がる。
- 採点正誤による合否判定の誤り
 - ・ 本来合格であったが、誤りにより3点上がる。
- 合否に影響のあった受検者について
 - ・ 本来合格であったのに不合格としていた受検者 2名

資料5

再点検での誤りの内容（内訳）

誤りの内容	(箇所)			
	H27小計・合計	H27正誤	H28小計・合計	H28正誤
正答を誤答とした		27		50
誤答を正答とした		31		59
中間点の配点を誤った		50		114
小計の算出を誤った	73		105	
合計の算出を誤った	7		4	
合計	80	108	109	223

正誤・中間点の誤りの内容		(箇所)	
		27年度	28年度
正答を誤答とした	記号・選択肢の誤り	21	31
	用語・数値（数学・理科）の誤り	3	14
	記述問題の誤り	3	5
誤答を正答とした	記号・選択肢の誤り	4	9
	用語・数値（数学・理科）の誤り	15	29
	記述問題の誤り	12	21
中間点の配点を誤った	記号・選択肢の誤り	1	0
	用語・数値（数学・理科）の誤り	0	1
	記述問題の誤り	49	113